

病害虫防除技術情報第1号

令和5年4月27日
三重県病害虫防除所

今後、降雨が多くなる見込みです。ムギ類赤かび病の追加防除を行いましょう！赤かび病は開花期以後の降雨・高温で発生しやすくなります。

1 対象作物：ムギ類

2 対象病害虫名：ムギ類赤かび病

3 生育と気象の状況

- 1) 農業研究所(松阪市)の11月11日播種の「あやひかり」では、出穂期は3月29日、開花期は4月8日であり、平年より8日程度早い状況です。
- 2) 伊賀地域の11月20日播種の「タマイズミ」では、出穂期は4月16日、開花期は4月25日であり、平年より7日程度早い状況です。
- 3) 1か月予報(4月20日・名古屋地方気象台発表)によると、向こう1か月の降水量は平年並か多く、日照時間は平年並か少ない見込みです。

4 防除対策

- 1) ムギ類では開花から10日前後の間が赤かび病に最も感染しやすく、この間に降雨があり、気温が20～27℃の時には感染が激しくなります。1回目防除の7～10日後に追加防除を行いましょう。
- 2) 圃場をよく観察し、播種時期ごとに開花状況を把握し、薬剤散布を行ってください。
- 3) 追加防除を行う場合は、1回目と系統の異なる薬剤をローテーション散布し、耐性菌を発生させない薬剤防除を心がけましょう。

薬剤は三重県農薬情報システム

<https://www.nouyaku.sys.com/nouyaku/user/top/mie>で検索することができます。

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。